

10-2 東日本大震災に係る対応の概要

東北地方太平洋沖地震に伴う災害対策本部の設置・運営

- (1) 平成23年3月11日午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震により、県内では最大震度6弱（桐生市元宿町）を観測したことから、県地域防災計画に基づき県災害対策本部（本部長：知事）を設置し、県内被害状況の収集、応急復旧対応に当たった。（その後、平成23年3月12日17:25に災害警戒本部（本部長：危機管理監）に移行した。）

県対策本部会議開催等の状況

平成23年3月11日	14:55	県災害対策部設置
	15:00	第1回災害対策本部会議
	17:00	第2回災害対策本部会議
	18:30	第3回災害対策本部会議
3月12日	16:00	第4回災害対策本部会議
	17:25	県災害警戒本部（本部長：危機管理監）へ移行。
3月14日	10:00	第1回災害警戒本部会議
3月15日	14:00	第2回災害警戒本部会議
3月15日	14:00	第2回災害警戒本部会議
~~~~~		
平成24年3月12日	17:15	災害警戒本部廃止

なお、平成23年3月14日10:00には、群馬県東北地方太平洋沖地震支援本部（本部長：知事、事務局：総務部総務課）が設置された。

- (2) 1年が経過し、震度4以上の余震について、県外では依然として続いているものの県内では平成23年5月以降10ヶ月以上継続して観測されていないことから、平成24年3月12日17:15に、災害警戒本部を廃止した。

1 1 浅間山噴火の歴史 (昭和～平成)

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
昭和3年(1928) 2月23日	浅間山周辺	16時45分大音響と共に爆発し、噴煙は東北東に流れ二度上附近では4～5分間にわたり大なるものは径6、7寸の降石あり(坪当り4～5個)灰砂礫は坪当り4升あった。	長野原町二度上附近、噴石による家屋の被害多く負傷者1名を出す。 (浅間山爆発史集)
昭和4年(1929) 9月18日	"	1時 9分大音響と共に爆発し噴煙は南東に流れる。噴出溶岩は方半里に落下。	軽井沢追分附近等戸障子の落下挫折、ガラス破損等かなりあり。 (浅間山爆発史集)
昭和10年(1935) 4月20日 5月 5日 22日 28日	"	16時21分大音響にて爆発、石樽山附近山火事、藤岡、富岡方面降灰活動活発にて噴煙本県側に流れて降灰量多し 5月 5日前橋にて89gr/m ³ 、5月22日69gr/m ³ 、28日坪当り1合5勺、11月 7日藤岡にて40gr/m ³	国有林に延焼。追分附近がガラス破損あり (浅間山爆発史集) 降灰により桑、野菜に被害。(浅間山爆発史集)
昭和11年(1936) 3月～9月	"	9時33分噴火	噴出岩石のため3名の登山者中1名足を折り死亡 (浅間山爆発史集)
昭和13年(1939) 3月～9月	"	3月25日の爆発以来頻繁に爆発し降灰多し。9月26日山火事おこる。	農作物に被害あり。 (浅間山爆発史集)
昭和22年(1947) 8月14日	"	12時17分砲音をたて爆発、山頂附近噴石落下し、また西側湯の平で山火事がおきる。	登山者11名落石で死亡、爆風で窓ガラスの破損あり (浅間山爆発史集)
昭和25年(1950) 9月23日	"	14時37分大爆音と共に噴火。噴火噴煙は、6,000mの高さに上り3km以内に火山弾が落下した。 噴煙は東南東に流れ降灰は宇都宮、東京におよんだ。 県内では赤城山以南の各地に降灰し量が多かった。	軽井沢附近窓ガラスの破損多く壁の落ちたものあり 登山者 1名 死亡 6名 負傷 (浅間山爆発史集) (気 象 要 覧)
昭和33年(1958) 11月10日	"	22時50分大爆発と共に大噴火。噴煙は、高度7,000mに達して東方に流れた。火山弾は3～4kmとび、風に流されたものは、東北東9kmの地点までとんだ。降灰は浅間山と沼田・藤田の線内であり、遠く太平洋まで続いた。	爆風によるガラスの破損被害は16kmの地点にまでおよび次の被害があった。 被害戸数 2,305戸 ガラス破損 28,154枚 壁の破損 50坪 戸障子の被害 2,509枚 (浅間山爆発史集)
昭和34年(1959) 4月14日	"	20時30分大爆発 噴煙は高度7,000mに達し南東に流れた。火山弾は南側に多く、3.6kmに達した。降灰は東京・横浜にまで達した。	火山弾により山火事が発生し国有林61ヘクタールを焼失した。 (浅間山爆発史集)
昭和36年(1961) 8月18日	"	14時42分中爆発 噴煙は高度7,000mに達して南東に流れ軽井沢附近も2cmの礫が降った。	登山者1名行方不明 火山礫、砂灰のため農作物に被害。 (浅間山爆発史集)

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
昭和48年(1973) 2月1日	"	19時20分中爆発 暗夜のため噴煙高度不明だが、火炎は500mに達した。 噴煙は東南東に流れ東側にこぶし大の火山弾、小石等が降り降灰は土浦、銚子に及ぶ。	空振及び噴石により、千ヶ滝附近の屋根、ガラス等の破損が相当あり。 (浅間山爆発史集)
昭和57年(1982) 4月26日	富岡市、甘楽郡全域、万場町・中里村・上野村・鬼石町	2時25分噴火、引き続き微噴火が継続し6時40におさまる。噴煙の高さ500mに達する。小規模の火砕流あり。 降灰は左記地域のほか埼玉、東京千葉に及ぶ。	降灰により県内左記地域の「しいたけ」に被害が生じた。 (日本活火山総覧第2版)
昭和57年(1982) 10月2日		9時58分微噴火 浅間牧場及び浅間園附近に降灰	被害は特になし。 (日本活火山総覧第2版)
昭和58年(1983) 4月8日		1時59分中噴火、爆発音、空振を伴う。浅間山の周辺には火山礫が降り、山腹の一部で山火事が発生した。 降灰は長野県、群馬県、関東北部、福島県で観測された。	被害は特になし。 (日本活火山総覧第2版)
平成2年(1990) 7月20日		6時25分微噴火。 狭い範囲で微量の降灰。	被害は特になし。 (日本活火山総覧第2版)
平成15年(2003) 2月6日		12時01分極小規模噴火。少量の有色噴煙が火口縁上300mまで上がり、火口南東の斜面に微量の降灰。	被害は特になし。
平成15年(2003) 3月30日		1時54分頃極小規模噴火。少量の有色噴煙が火口縁上300mまで上がる。火口南東の斜面に微量の降灰。	被害は特になし。
平成15年(2003) 4月7日		9時24分頃極小規模噴火。少量の有色噴煙が火口縁上200mまで上がる。	被害は特になし。
平成15年(2003) 4月18日		7時32分頃極小規模噴火。少量の有色噴煙が火口縁上300mまで上がる。	被害は特になし。
平成16年(2004) 9月1日	長野原町・嬬恋村・片品村・吾妻町	中爆発。噴煙の高さは雲のため不明。気象レーダーにより3,500m~5,500mで北東に流れたと推定。軽井沢測候所で大きな爆発音と空振(205パッル)を観測。火口周辺に直径3~4mの噴石、火口の北東6km付近に3cm程度の火山礫降下。北東方向の群馬県嬬恋村をはじめ、群馬県・栃木県・福島県の一部に降灰。	非住家2棟ガラス破損 (空振によるもの) 降灰によるキャベツ等の農業被害 国道146号、県道ほか一部降灰による通行規制
平成16年(2004) 9月14日		小噴火。灰色の有色噴煙が2,500mまで上がり東に流れる。噴石、火山礫の降下は、火口周辺以外では特に確認されなかった。東南東方向の長野県軽井沢町、群馬県松井田町・安中市等に降灰。	被害は特になし

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
平成16年(2004) 9月15日 ～ 9月18日		小噴火が頻発。噴煙の高さは、最高1,500mまで上がり南～南東に流れる。火口周辺に噴石が間欠的に飛散。東方向の長野県軽井沢町をはじめ、関東地方南部(埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県)の一部に降灰。	被害は特になし
平成16年(2004) 9月23日	長野原町・ 嬬恋村	中爆発。噴煙の高さは、雲のため不明。中程度の爆発音と空振(72 $^{\circ}$ スカ)を観測。火口の北北東4km付近に3cm程度の火山礫降下。北～北東方向の群馬県嬬恋村・長野原町をはじめ、新潟県・山形県の一部に降灰。爆発地震により軽井沢町追分及び御代田町御代田で震度1を観測。	降灰によるキャベツ等の農業被害 町道、浅間白根火山ルート一部降灰による通行規制
平成16年(2004) 9月29日	嬬恋村・六 合村・草津 町	中爆発。噴煙の高さは、雲のため不明。軽井沢測候所で弱い爆発音と空振(29 $^{\circ}$ スカ)を観測。火口の北4km付近に4cm程度の火山礫降下。北～北東方向の群馬県嬬恋村・長野原町・草津町等に降灰。爆発地震により御代田町御代田で震度1を観測。	降灰によるキャベツ等の農業被害
平成16年(2004) 10月10日		小爆発。噴煙の高さは、雲のため不明。軽井沢測候所で空振(18 $^{\circ}$ スカ)を観測。火口の北北東4km付近に2cm程度の火山礫降下。北北東方向の群馬県嬬恋村・長野原町に降灰。	被害は特になし
平成16年(2004) 11月14日		中爆発。噴煙の高さは雲のため不明。気象レーダーにより3,500～5,500mまで上がったと推定。大きな爆発音と中程度の空振(73 $^{\circ}$ スカ)を観測。火口の東北東4km付近に4～5cm、東～北東4km付近に3cm程度の火山礫降下。東～東北東方向の長野県軽井沢町、群馬県嬬恋村をはじめ、関東地方北部(群馬県・栃木県)の一部に降灰。	被害は特になし
平成20年(2008) 8月10日		2時37分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は南東方向。	被害は特になし
平成20年(2008) 8月11日		20時5分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは200m。流向は南方向。	被害は特になし
平成20年(2008) 8月14日		7時59分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は南東方向。	被害は特になし

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
平成21年(2009) 2月2日		1時51分頃～8時頃、小噴火発生。噴煙の高さは、最高2,000mまで上がり南東に流れる。火口から約1kmに弾道を描いて飛散する大きな噴石が飛散。降灰は県内においては富岡市、藤岡市、安中市、下仁田町、甘楽町で確認され、県外においては関東地方南部まで確認(埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県)の一部に降灰。	町道、鬼押しハイウェイ一部降灰による通行規制 2月1日13:40規制開始 2月3日10:00規制解除 富岡市、下仁田町で農作物被害(ホウレンソウ、コマツナ、ブロッコリー、ネギ)
平成21年(2009) 2月9日		6時34分頃～10時15分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400mで流向は東方向。軽井沢の一部の地域で微量の降灰を確認。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月9日～ 2月12日		9日11時30分頃～12日8時頃、小噴火が頻発。9日17時10分頃には火口縁上の噴煙の高さは1,000mで流向は北東方向。10日4時50分頃には火口縁上の噴煙の高さは1,400mで流向は南東方向。11日2時50分頃には火口縁上の噴煙高さは1,000mで流向は東方向。軽井沢町の一部で微量の降灰を確認。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月12日		16時51分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは300mで流向は南東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月12日		18時7分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400mで流向は南東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月12日		21時2分頃～22時12分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは500m。流向は南東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月16日		13時頃～14時頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月16日		16時35分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは雲のため不明。東京大学浅間山観測所で微量の降灰を確認。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月17日		18時33分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 3月15日		23時48分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは200m。流向は東方向。	被害は特になし

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
平成21年(2009) 4月14日		7時32分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は北東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 4月30日		20時2分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは500m。流向は北東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 5月3日		3時20分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は北東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 5月27日		1時41分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは600m。流向は直上方向。	被害は特になし
平成27年(2015) 6月16日		8時50分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは視界不良により不明。北から北東方向にかけて微量の降灰を確認。	被害は特になし
平成27年(2015) 6月19日		17時00分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは視界不良により不明。山麓での降灰は確認されていない。	被害は特になし

## 1 2 草津白根山の活動の歴史

年 月 日	活 動 状 態
昭和2年12月31日	湯釜北壁下部に長さ100mの大きな割れ目を生じ、岩塊・火山灰・泥土及び多量のガスを噴出し、湯釜内の水面は14m低下した。
昭和3年1月29日	19時頃から活動を始めた。31日にも活動継続中噴出した硫黄が吾妻川から利根川に入り水が白濁し魚が死んだ。
昭和7年10月1日	14時頃に爆発。草津でわずかに降灰、火口付近では死者2、負傷者7、山上の施設破損甚大
昭和7年10月4日	1時頃噴火、附近に降灰。
昭和7年10月5日	噴煙
昭和7年10月6日	小活動
昭和7年10月8日	6時40分噴火、その後終日噴煙
昭和7年10月18日	10時20分噴煙
昭和7年10月23日	10時20分頃噴煙
昭和7年10月26日	1時17分頃噴火
昭和7年10月27日	9時 3分頃噴火、その後終日噴煙
昭和7年10月28日 " 10月31日	終日噴煙
昭和7年11月27日	4時10分頃爆発鳴動、15～20分間にわたり山麓において戸障子が振動し降灰あり
昭和7年12月1日	10時10分頃爆発
昭和7年12月28日	17時40分頃爆発
昭和7年12月30日	20時20分頃爆発

年 月 日	活 動 状 態
昭和7年12月31日	15時5分爆発
昭和13年1月10日	ときどき噴煙
昭和13年11月6日	終日噴煙
昭和13年11月7日	”
昭和13年11月9日	14時50分頃噴煙
昭和13年11月15日	10時30分頃から終日噴煙
昭和13年11月19日	11時頃から終日噴煙
昭和14年	2月23日から噴煙が認められ、3月下旬から活動が急に盛んになり、4月中はほとんど連日噴火を繰り返し、しばしば降灰、特に4月11・19・24・30は活発、5月下旬頃から次第におだやかになった。
昭和15年4月7日	17時頃噴煙
昭和15年9月13日	16時頃噴煙
昭和16年1月19日	噴 煙
昭和17年2月2日	夕刻から翌朝にかけて活動し、水釜、湯釜、火口の東ないし南側外斜面に割れ目を生じた。活動時には噴煙、降灰があり、鳴動は草津町でも聞こえた。また、火口附近の施設破損。
昭和26年10月上旬	湯釜、火口の東外側斜面に2～3mの噴気孔が出現して、湯水たまり、噴気活動を行った。
昭和33年10月10日	湯釜に小規模の爆発
昭和38年	噴気活動の位置の移動、噴気活動はこの10年間余、湯釜の外側の南東斜面に中心があったが漸次水釜の外側の北斜面に移動し、湯釜の外側の南東斜面の噴気は休止した。また同時に濁っていた弓池の水は澄んだ。



年 月 日	活 動 状 態
昭和49年	異常噴気
昭和51年3月2日 発見3月11日	水釜北東部内壁より水蒸気爆発(直径50m、深さ10mの噴火口)、北東100mの範囲は降灰、2箇所(湯釜)の噴気孔ができた。なお、地震記録から17時59分に噴出活動が起こり、この後10分間にわたって、小さなものが続いたことが推定された。
昭和52年1月4日	14時26分頃、水釜東側で噴気が活発になり音を伴って噴煙を20m位上げた。また同時に白根山頂一帯で震度3~4の有感地震があった。
昭和53年1月1日	(無線式火山性振動装置による観測開始)
昭和57年10月26日	9時05分頃噴火、噴火地点は湯釜の北側と湯釜の西~北西~北側に至る数箇所。降灰は殺生河原、草津町、長野原方面で認められた。
昭和57年12月29日	5時38分頃湯釜北西岸で噴火、15時30分頃から弱まる。降灰は北東方面へ4km。
昭和58年7月26日	12時12分、湯釜の北西岸で噴火、鳴動を伴う。噴石は湯釜の内壁稜線を越えて湯釜の東外側に落下した。
昭和58年11月13日	11時40分、12時08分の2回噴火、爆発音を伴う。 噴火地点は湯釜北西岸と湯釜を連ねる弱線上、噴火口から600~700mの範囲に人頭大の噴石を放出し、駐車場、道路、地震計用埋設ケーブル等に被害があった。降灰は東南東方向約45kmまで観測された。
昭和58年12月21日	10時30分、湯釜から湯釜を連ねる弱線上の数ヶ所で噴火、噴煙の高さは300m、南東方向400mまで降灰があった。
平成元年1月6日	極小規模の火山活動があった。
平成8年2月7日	10時44分頃 湯釜湖面において、極小規模の表面現象が生じた。
平成16年5月19日	地震活動が活発になったが、火山活動には関係ない地震であった。
平成20年8月頃	湯釜北側水際部(水釜方面)で熱活動が活発化してきた。 北側噴気地帯と水釜北東斜面噴気地帯との間に新たに噴気が確認された。

年 月 日	活 動 状 態
平成21年4月10日	草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。
平成22年4月 8日	草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。
平成23年4月 6日	草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。
平成23年5月27日	平成20年1月9日以来の火山性微動が観測された。
平成24年4月11日	草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。
平成25年4月17日	草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。
平成26年4月10日	草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。
平成26年6月 3日	湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が3月上旬から増加。 噴火警戒レベルを1から2へ引き上げ
平成27年4月 7日	草津白根山防災会議協議会において、平成26年6月から噴火警戒レベル2が継続されており、噴火警戒レベル2に対応した立入規制を維持する方針とした。
平成28年4月 8日	草津白根山防災会議協議会において、引き続き噴火警戒レベル2が継続されており、噴火警戒レベル2に対応した立入規制を維持する方針とした。

13 自衛隊の災害派遣要請状況（昭和50年以降）

要 請 期 間	要 請 理 由	活 動 内 容
50. 1. 4～ 1. 5	山岳遭難（谷川岳）	遭難者の捜索及び空輸
4. 17～ 4. 25	山崩れ（水上町湯桧曾地区）	被害家屋の除去及び啓開作業
6. 12～ 6. 17	集中豪雨（昭和村）	校庭の土砂排除及び防疫作業
51. 8. 3	硫化水素ガス中毒（本白根山）	ヘリコプターによる偵察
52. 4. 2	山岳遭難（至仏山）	負傷者の空輸
5. 10	林野火災（高山村知高地区）	ヘリコプターによる偵察
53. 8. 5～ 8. 18	軽飛行機の遭難	ヘリコプターによる捜索
54. 1. 26	林野火災（松井田町坂本地区）	ヘリコプターによる偵察
3. 29～ 3. 30	林野火災（桐生市梅田地区）	ヘリコプターによる偵察・消火
4. 1～ 4. 2	林野火災（利根村大字小松地区）	ヘリコプターによる偵察
12. 5	心臓病患者の空輸	ヘリコプターによる空輸
55. 3. 24	山岳遭難（上信国境）	ヘリコプターによる捜索
9. 3	心臓病患者の空輸	ヘリコプターによる空輸
56. 1. 31～ 2. 3	水道管破損に伴う断水	給水車による給水
57. 2. 16	山岳遭難（谷川岳）	ヘリコプターによる捜索
8. 4	救援物資搬送（六合村）	ヘリコプターによる救援物資搬送
10. 15～10. 20	簡易水道源汚染に伴う断水（月夜野町）	給水車による給水
60. 5. 27～ 5. 29	水難（玉村町）	ボート等による捜索
62. 2. 27～ 2. 28	林野火災（桐生市菱町黒川地区）	ヘリコプターによる偵察・消火
3. 5	林野火災（渋川市金井地区）	地上部隊による消火
5. 11	林野火災（上野村楢原地区）	ヘリコプターによる消火
5. 4. 19～ 4. 20	林野火災（沼田市戸神町）	ヘリコプターによる偵察・消火
4. 27～ 4. 28	林野火災（万場町森戸地区）	ヘリコプターによる偵察・消火
6. 4. 17	林野火災（箕郷町松之沢地区）	ヘリコプターによる偵察 地上部隊による消火
4. 22	林野火災（高崎市山名町）	ヘリコプターによる偵察 地上部隊による消火
7. 4. 22～ 4. 23	林野火災（高崎市山名町）	ヘリコプターによる消火 地上部隊による消火
7. 12. 29～12. 30	林野火災（上野村天丸山）	ヘリコプターによる消火
8. 3. 24	林野火災（高崎市山名町）	ヘリコプターによる消火
8. 4. 6	林野火災（妙義町下高田地区）	ヘリコプターによる消火
9. 3. 4～ 3. 6	林野火災（大間々町塩沢地内）	ヘリコプターによる消火 地上部隊による消火
3. 7～ 3. 9	林野火災（安中市・榛名町）	ヘリコプターによる消火 地上部隊による消火
10. 8. 28～ 8. 30	集中豪雨による断水（水上町）	給水車等による給水
12. 3. 4	林野火災（桐生市川内町5丁目）	ヘリコプターによる消火

要 請 期 間	要 請 理 由	活 動 内 容
14. 4. 4	林野火災（榛東村上野原）	ヘリコプターによる消火
14. 4. 5	林野火災（安中市東上秋間）	ヘリコプターによる消火
14. 5. 6	林野火災（桐生市菱町5丁目）	ヘリコプターによる消火
16. 1. 28～ 1. 29	林野火災（桐生市広沢町6丁目～太田市吉沢町）	ヘリコプターによる消火
18. 1. 14～ 1. 15	豪雪災害（みなかみ町立幸知小学校）	除排雪作業
19. 9. 9～ 9. 14	台風9号による風水害	①被災地域の状況解明、②孤立地域に対する緊急物資の輸送、③応急道路復旧支援、④給水支援
21. 4. 9	林野火災（沼田市佐山町）	ヘリコプターによる空中偵察、消火活動待機
25. 5. 7	林野火災（桐生市菱町白葉峠）	ヘリコプターによる消火
26. 2. 15	大雪（高崎市箕郷町）	立ち往生車両からの救出
26. 2. 16	大雪（高崎市寺尾町）	孤立施設への支援物資の運搬
26. 2. 16	大雪（渋川市北橘町）	孤立施設への支援物資の運搬
26. 2. 16	大雪（南牧村）	停電の原因特定のための航空調査
26. 2. 16	大雪（上野村）	透析患者の搬送
26. 2. 17～ 2. 19	大雪（南牧村）	孤立住民の救出活動
26. 2. 18	大雪（藤岡市）	物資の運搬及び孤立住民の安否確認
26. 2. 18～ 2. 19	大雪（藤岡市、上野村、下仁田町、南牧村、神流町）	支援物資の運搬及び孤立住民の安否確認
26. 2. 19～ 2. 20	大雪（藤岡市）	孤立住民の安否確認（陸路）
26. 2. 19～ 2. 20	大雪（下仁田町）	支援物資の運搬（除雪により運搬）
26. 2. 19～ 2. 20	大雪（上野村、南牧村）	支援物資の運搬（上野村） 重機オペレーター6名の輸送（南牧村）

平成22年度～平成24年度、平成26年度～平成28年度は、派遣要請なし

1 4 昭和40年以降の災害救助法の適用状況

災害発生 年月日	災害 種別	救助法 適用 区域	被 害 状 況									備考
			人 的		住 家					り 災 世 帯		
			死 者	傷 者	全 壊	半 壊	一 部 損	床 上 水	床 下 水	世 帯	人 員	
S41. 6. 28	台 風 4 号	太田市	人	人	棟 2	棟 2	棟 7	棟 1,471	棟 5,689	世帯 832	人 5,508	
S41. 9. 25	台 風 26 号	7 市 8 町 8 村	15	92	453	1,436	19,322	519	3,143	2,408	9,735	
S49. 10. 6	山崩れ	榛名町	6	6	3				2	3	19	下里見 地区
S50. 4. 14	山崩れ	水上町			5				3	4	9	湯桧曾 地区
S57. 7. 31 ~ 8. 2	台 風 10 号	高崎市			12	60	74	371	2,022	446	1,508	
H26. 2. 14 ~ 2. 15	雪	3 市 3 町 3 村	3	37			238		4			

